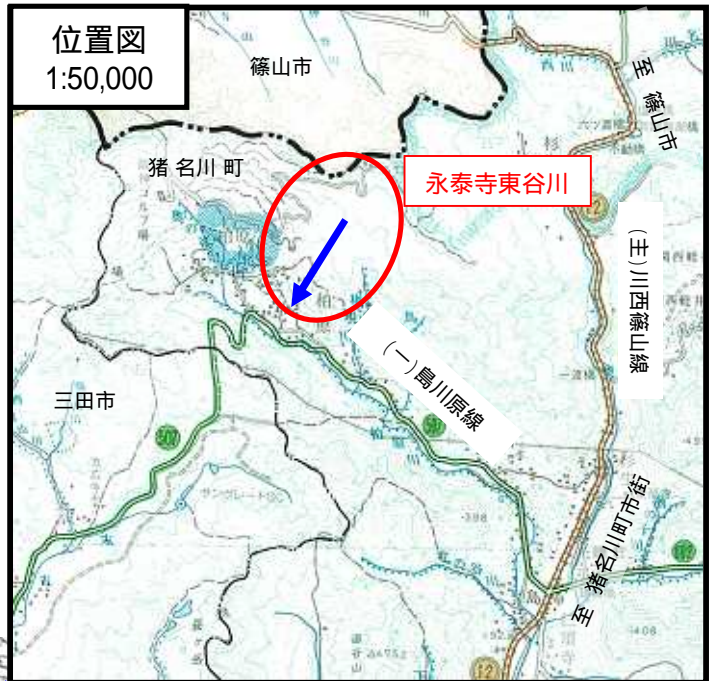


投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5億円
		通常砂防事業 <small>えいたいしじがしたに</small> 永泰寺東谷川	猪名川町 <small>かしはら</small> 柏原	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
猪名川町柏原				H22	H24
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生の危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 12.0m, L = 70.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 (流域の状況)	・(一)猪名川水系柏原川に流入する土石流危険溪流 ・流域は、風化が進行し転石(0.6m前後)が多く存在しており、近年の降雨による溪岸の浸食も進むなど、流域の荒廃が進行している。 ・谷出口に住宅地が広がっており、土砂災害の危険性が高い。				
(保全対象等の状況)	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約7ha(長さ300m、最大幅330m程度)に及ぶ。 ・(一)島川原線は、同町柏原地区へ至る唯一の生活道であり、県道が被災した場合は柏原地区が孤立化するなど土石流が地域に与える影響は大きい。 ・人家15戸、宿泊所(ペンション)、(一)島川原線(避難路:約300m)、町道200m				
(2)有効性・効率性 (効果)	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成21年度に土砂災害警戒区域を指定する予定であり、警戒避難体制を整備することにより、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
(事業執行環境)	・工事用道路の確保が容易であるなど、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・県道からの視認性を考慮し化粧型枠を採用するとともに、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・人家とともに避難路の保全を図る必要があることから、早期着手に対する地元要望が強い。 以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

えいたいじひがしたにがわ
永泰寺東谷川
 [猪名川町]



計 画 概 略 図
 縮 尺 1 : 5 , 0 0 0

